

**製品名: Cdc2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21356**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:34kD;Observed MW:34kD

**抗原情報**

遺伝子名	CDK1
別名	CDK1;CDC2;CDC28A;CDKN1;P34CDC2;Cyclin-dependent kinase 1;CDK1;Cell division control protein 2 homolog;Cell division protein kinase 1;p34 protein kinase
遺伝子 ID	983
SwissProt ID	P06493
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

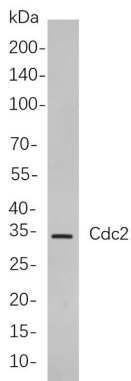
**背景**

細胞局在: 細胞質、核。サイクリン依存性キナーゼ 1 (CDK1) ホモ・サピエンス。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーである。このタンパク質は、M 期促進因子 (MPF) として知られる高度に保存されたタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットであり、真核生物の細胞周期における G1/S 期および G2/M 期の移行に必須である。有糸分裂サイクリンはこのタンパク質と安定的に会合し、調節サブユニットとして機能する。このタンパク質のキナーゼ活性は、細胞周期を通してサイクリンの蓄積と分解によって制御される。このタンパク質のリン酸化と脱リン酸化もまた、細胞周期制御において重要な調節的役割を果たしている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2009 年 3 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析 (Cdc2 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。